

## [パターン8] 医療上明らかに相応しくない技能・態度を確認する出題

### (医師国家試験の例)

24歳の女性。VDT作業者の健康診断で、頸肩腕部の痛みとしびれ感とが持続すると訴えている。4年前からコンピューター末端を使用したデータ入力作業に従事している。就労開始後、痛みとしびれ感を感じはじめ、1ヶ月前から症状が強くなった。産業医の指導として誤っているのはどれか。

- a 作業の前後、休憩時に体操を実施する。
- b 作業ローテーションの導入を検討する。
- c キーボードの位置を肘の高さに調整する。
- d 午前中の作業量を増やし午後の負担を軽くする。
- e 空調の冷気が頸肩腕部に直接当たらないようにする。

### (薬剤師国家試験出題のイメージ)

50歳男性、身長160 cm、体重68 kg、定期健診で高血圧を指摘され1年以上前から、高血圧薬を服用している。今回、新たにフルニトラゼパム錠 1mg 1錠を1日1回就寝前に服用するよう追加された。薬剤師の服薬指導として誤っているのはどれか。

- 1 不眠は血圧コントロール不良の一因となるため、フルニトラゼパムが処方されている。
- 2 フルニトラゼパム服用後、十分に目が覚めないまま、車の運転、食事等を行い、その出来事を記憶していないことがある。
- 3 フルニトラゼパムとアルコールとの併用は相互に中枢神経抑制作用を増強するおそれがあるため避けるべきである。
- 4 フルニトラゼパム服用後、眠気、ふらつき等が現れることがあるので運転や危険な作業を行わないようにする。
- 5 フルニトラゼパムを服用しても眠れないことがあるのは、個人差があるからであり、自分で量を調整するようにする。